

NIR Multi-spectral Imaging system 近赤外マルチスペクトルイメージングシステム

待望の近赤外マルチスペクトルフィルター&カメラシステム

面分光用ツールとして多彩なアプリケーションに対応可能なマルチスペクトルフィルター（近赤外域）と InGaAs 近赤外カメラを組み合わせ、専用設計光学系、独自開発解析ソフトを加えて一体化した、近赤外マルチスペクトルイメージングシステムを開発いたしました。

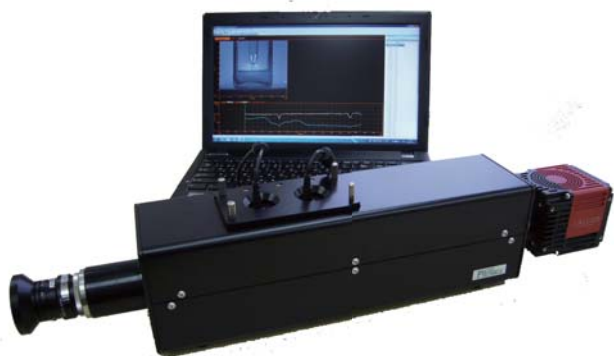
マルチスペクトルフィルターで捉えた正確な波長データから、高性能 InGaAs カメラで波長毎の二次元面分光画像を取得し、内蔵の画像ソフトで解析まで可能なので、これ一台で各種の近赤外域スペクトルイメージング応用測定が可能です。

基本仕様

- マルチスペクトルフィルター：850～1800nm、帯域6nm、口径20mm
- TEC冷却機能付き近赤外カメラ：InGaAs センサ、900～1700nm

特長

- ◆マルチスペクトルフィルターで、任意の波長が捉えたライブビュー画像を手動・自動露光で適切な画像で取得できます。波長範囲を任意かつ等間隔にして連続撮影することや、指定波長のみの連続撮影も可能です。
- ◆8bit (256 階調) より大きな撮影画像は TIFF 形式で保存され、独自開発解析ソフトにより疑似カラー機能、横軸に波長、縦軸に A/D raw を表示する機能、ダーク・リファレンスから計算した分光反射率 (%) グラフ機能、任意指定したスペクトルと類似のものを探す疑似スペクトル検索機能など、各種の機能が搭載されています。



用途

非接触・非破壊検査、リモートセンシング、天文・火山測定、生体組織分光など

このシステムは手軽に近赤外域の二次元面分光画像が取得・解析でき、マルチスペクトルイメージングの高パフォーマンスな測定が簡単にできるので、これまで難しかった領域の応用測定が手軽に実現出来ます。

* 尚、可視域(400-720nm)、近赤外域(650-1100nm)のマルチスペクトルフィルターと冷却 CCD カメラの組み合わせで、同様の可視(近赤外)マルチスペクトルイメージングシステムを構築することもできます。